

# JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	北海道支部	(2)記者氏名:	三野裕輝	会員番号:	13996	事務局整理記入欄	北海道 - 103
分水嶺区分:	P448西尾根～H120 448.2～P448東 P	(3)山行日:	2005年	1月	9日	(4)天候	晴れ後雪 積雪 1.5 m

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

長谷川雄助	6103			新妻 徹	5868		
樋口みな子	13442			横川政行	13564		
三野裕輝	13996						
計				計			
3名				2名			

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	JRオサワ信号所鉄橋下～ヌタポマナイ川右尾根～P323～P354～分水嶺尾根～P448～東 P(折り返し)												
アプローチ:	札幌市厚別区～R274～穂別ダム～町道～JRオサワ信号所												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	オサワ信号所	長和	142	10	30.7	42	56	0.3	231		11:05		(8)
分水嶺到達点	P448西尾根	"	142	11	10.1	42	57	4.9	417	13:40	13:45	B - 4	(9)
H120	P448m	"	142	11	19.3	42	57	10.0	441	13:50	13:55	"	(9)
	P448東 P	"	142	11	43.6	42	57	9.6	437	14:35	14:25	"	(9)
	(折り返し)												
分水嶺離脱点	P448西尾根	"	142	11	10.1	42	57	4.9	417	15:10	15:15		
歩行終了点	オサワ信号所	"	142	10	30.7	42	56	0.3	231	15:55			
											総歩行時間(休憩時間を除く):	3時間05分	
											分水嶺距離	1.8km ; その他距離 4.5km	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項
H120	P448.2				積雪により、発見できなかった。

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

JRオサワ信号所までの町道は、信号所保守のため除雪されている。

(9)水および植生に関連した特記事項

オサワ信号所から中央分水嶺に至る尾根は、樹齢の大きいアカエゾマツの植樹林、ミズナラ、タモ、ハリギリなどの広葉樹が多く見られるが、二次林である。
台風18号の被害は少なく、アカエゾマツが数本倒れているのみである。
稜線上の植生は、シラカバの幼木が多く、その他の樹木は植林のため伐採したと思われる。
尾根筋にエゾシカの歩行跡がトレースのように残っており、相当数のエゾシカが生息していると見られる。この地区は禁猟区である。

(10)その他の特記事項

現地の積雪状況および樹林帯の植生密度を考慮し、スノーシューにより行動した。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: